



琢磨

主造律
自創規

朝日中通心

生徒数 (令和2. 11. 24 現在) 総数 292 名
1年 93 名 2年 109 名 3年 90 名

令和 2 年 2 月 2 6 日

自分の生き方を求め 今を大切にする
朝日中生を育成する

奄美市名瀬朝日 29 番地 1
TEL 52-1195 FAX 53-5650
HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>

明日からの成長を信じて

校長 夏迫 満弘

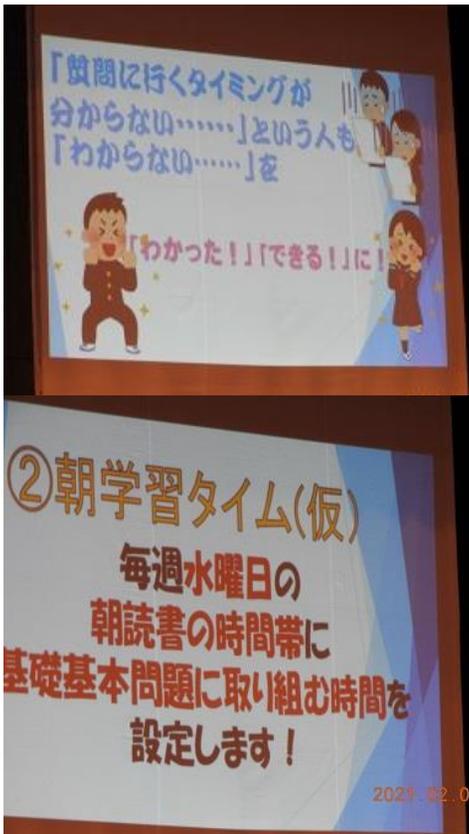
屋久島の縄文杉は、推定樹齢が七千二百年とされ、現在確認される中では最大・最古の杉と言われています。しかし、なぜそんなことがわかるのでしょうか。それは主に、年輪から導き出されたものです。一年に一本刻まれる年輪は、成長の盛んな時にできる色の薄い部分と、ゆっくり成長したタイミングで残る色の濃い部分に分かれ、その濃い部分を年輪と呼んでいます。そんな年輪を人の成長と重ね、年輪の幅が広い所はたくさん成長し、幅の狭い所は時間をかけてゆっくり成長したと例えられたりします。

登校時、正門での挨拶の中で最近私が感じることは、一年生の心身の成長です。身体的には、ほぼ二、三年生と変わりません。それに加え、挨拶の態度や声がしっかりしてきた姿を見て、新一年生を迎えるに何ら心配はないと思えるようになりました。二年生も授業を初め、校内で過ごす姿を通して立派に成長したといえます。特に生徒会では執行部を中心とし、各専門部が生き生きと活動していることに目がいえます。まだ始まったばかりの長丁場ですので、体調にも気をつけて活動してください。三年生は、この一年間コロナ禍にあったにも関わらず、最上学年としての自覚と実行で、朝日中を大きく成長させてくれました。卒業しても、皆さんは朝日中自慢の生徒たちです。一年生はそんな皆さんを目標とし、朝日中を更に大きくしてくれることを期待しています。

さあ、自分のこの一年間の学習面や生活面、部活動等について振り返ってみましょう。伸び幅の大きなところ、そうでないところがあったはずで、伸びは少なかつたとはいえず、必ず意味のある時間を過ごしています。まずは気づいたことを修正し、これから努力を積み重ねることで、人は魅力ある人間に成長します。明日からの新たな目標づくりを三月の課題とし、この残りわずかな毎日をしっかり頑張りましょう。

日々の積み重ね

学習に取り組む雰囲気を上させたい。三学期は、定期テストに向けて、生徒会の学習部を中心に学年末テスト及び学習への不安を解消する取組が先生方と一緒に始まりました。学習部が、全校生徒に取組内容について説明し、実践が始まりました。



テスト計画表の見直しや質問タイム、朝学習タイムが計画され、実践されています。目的をもって取り組むことは大切なことです。チャンスを生かして、学習で困っていることを解消し、朝日中生みんなで学力を向上させていきましょう。

保護者のみなさんは、生徒が家庭で自律した学習が実践できるように、4月に配付された家庭学習の手引きなどを参考に温かい声かけをお願いします。そのためには、自律した生活ができるように家庭のルールづくりを行い、規則正しい生活を送ることが大切になってきます。

学校評議委員会

二月十三日(土)に第三回の学校評議委員会を実施しました。学校評議委員会とは、地域の方が学校運営に参画し、地域に開かれた学校として、生徒の実態や地域の実情に合わせた特色ある教育活動を推進するために設定されています。会は、年間三回実施され、地域に開かれた学校を目指して、意見が出されました。

特色ある教育活動の推進については、「聞き書き教室」を来年度も継続して取り組んでほしいとの要望があり、地域として郷土についてもっとと上手に伝えていきたいとの決意もありました。

学力に係る諸調査から、生徒が一生懸命に授業を受けている様子や学力が向上していることを称賛していただきました。生徒と先生方が協力してこれからも学力向上に取り組んでほしいということや白百合の寮に学習指導に行かれる先生方への感謝がありました。

家庭の状況については、携帯、スマホなどのフィルタリングが百パーセントに到達していないことが課題であることが指摘されました。子どもたちが直面する大きな事案として、ネット中傷やゲームの課金などが、社会問題として報道されています。「自分の子どもが巻き込まれることはない」という考えや、「フィルタリングの方法がわからない」ということでこの課題を見直すことができないように、管理の徹底をお願いします。

コロナ禍で各種行事の実施が難しいなかですが、来年度も地域に開かれた学校を目指していきます。

新しい年に向けて

2月17日（水）に令和3年度入学説明会が実施されました。開催については、コロナ禍の対応として、部活動見学を中止し、感染拡大防止に努めて実施しました。緊張した感じの六年生でしたが、生徒会が作成したプレゼンを視聴する間に、表情が和らぎ、中学生活への期待がみられました。

短い時間での校舎見学、授業見学でしたが、元気で期待に胸をふくらませて入学してくる4月をすばらしい先生方と頼りになる先輩と一緒に楽しみにしています。



夢の発表（なんとシマグチで）

2月28日（日）奄美市文化センターでシマグチによる小・中学生の夢の発表が行われます。今年度は、学び福祉フェスタが中止、縮小となり、入場制限を行い、内容を削減した計画で実施されます。本校からは、1年生の原口結乃さんが参加して、シマグチで発表します。22日（月）に、全校生徒の前で発表を行いました。発表する内容は、下記のとおりですが、これをシマグチで発表します。

未来まであの歌を

夏祭りやムチモシで聴こえてくるシマ唄。毎年、私の心は踊る。独特のこぶしにビブラート、音の上がり下がり。三味線やちぢん。それを聴くだけで、幸せな気持ちになれる。

今年、私は中学生になり、初めて臨んだ学習発表会で三味線を弾き「いきゅんにゃかな」を唄った。最初は、三味線の指使いやシマ口の歌詞について、意味がわからずにいた。だが、練習するうちに少しずつ三味線が上達し、歌詞の意味を理解し、気持ちを込めて唄うことができるようになっていった。発表は大成功。友達からは「すごかったね。感動したよ。」と言われ、とてもうれしかった。このように、今も昔もシマ唄は聴く人に感動を与えてきたのだろう。私はシマ唄をより好きになった。どこか神秘的で美しいあのリズム、何十年先の未来でも、たくさんの人が心奪われる、そんなシマ唄であってほしい。奄美の伝統は絶やさないと心に決めた。だから私は今日も愛する故郷のシマ唄を唄う。



桜の木の下で

校舎前の桜には、2月になると生徒や先生方が集います。今年度は、桜の開花に合わせて、温もりのあるベンチが設置されました。桜を愛でる生徒がおり、穏やかな気持ちになりました。今年の桜は、開花時期に強い風がなかったため、綺麗な花を長く楽しませていただきました。・・・メジロもヒヨドリも集まります。



本校の桜の植栽について調べてみると、校舎建設後は、まだ多くの桜が植えられていたようです。冬場の強風や台風の影響で傷み、枯れていったようです。確かに現在する桜木は、来賓駐車場にいくほど、傷みがひどくなっています。昨年度、校舎前に5本の桜木を植栽しました。今年、2本が成長し、古木より少し早く、小さなつぼみをちょっと咲かせました。残りの3本は、やはり枯れてしまいましたが・・・

新しく植えた桜木が、年々大きくなり、数年後には、先生方や生徒の集う桜になることを期待しています。

3月学校行事 丸内SC来校日 16日（午後）、24日（午前）

3日（水）	朝の学力向上の取組 質問タイム	15日（月）	卒業式予行 準備
9日（火）	公立高等学校一般入学者選抜1日目 2年クラスマッチ	16日（火）	第73回卒業式
10日（水）	公立高等学校一般入学者選抜2日目 1年クラスマッチ	17日（水）	公立高等学校合格者発表
11日（木）	テーブルマナー教室3年	22日（月）	1, 2年生保健講話
12日（金）	3年クラスマッチ 1, 2年校外学習	24日（水）	質問タイム 公立高校二次試験
		25日（木）	大掃除, 修了式, 辞任式